

「チーバくん、ふるさと・ことばかるた」を活用した指導事例（2）

1 題材名 「自分たちの住んでいるところや千葉の食べ物を知ろう」

2 ねらい

■「チーバくん、ふるさと・ことばかるた」活用におけるねらい

②郷土への愛着を感じ、ふるさと意識を醸成する。

■本時の主たるねらい

かるたを楽しみながら、自分たちが住んでいる市や町、千葉の食べ物を身近に感じ、興味を持たせる。

3 対象幼児 5歳児

4 展開

幼 児 の 活 動	教 師 の 援 助
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「チーバくん、ふるさと・ことばかるた」で繰り返しの遊びが終わっている。(幼児がいくつかの読み札を覚えて口に出して言っている段階)</li> <li>・集まる。</li> <li>・知っている幼児が答える。</li> <li>・食べ物の特徴について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かるたの中で扱われている食べ物の実物を見せ、意見が気軽に言えるような雰囲気を作り、応答を通して読み札の内容の理解を深める。</li> <li>(例)「落花生」について尋ねる。                      T 「これ何だかわかるかな？」                      T 「食べたことある？」                      T 「この中にいくつか入っているんだろう？」                      T 「中はどんなふうになっているんだろう？」                      (T：教師)</li> <li>・どのように実ができていくか、実際に見せる。</li> <li>・落花生は千葉県の特産物であることを知らせる。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで声に出して読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵札と読み札を提示し、読み札の文面を声に出して読む。 (例)「らっかせい ふたつならんで にっこにこ」</li> <li>・そのほか幼児が興味を持った食べ物について、日を替えて取り上げる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで声に出して読む。</li> <li>・知っている幼児が答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の食べ物を扱うほか、日を替えて、自分が住んでいる市町村の近くにある場所が題材となっている札を取り上げ、その絵札と読み札を提示する。</li> <li>・読み札の文面を声に出して読む。 (例)「せかいじゅう むすんでいるよ なりたくうこう」</li> <li>・意見が気軽に言えるような雰囲気を作り、応答を通して読み札の内容の理解を進めていく。 T 「成田空港って行ったことある？」 T 「どんなところかな？」 T 「世界には日本以外にたくさんの国があるけれど、ほかにどんな国がある？」</li> <li>・そのほか幼児の生活と結びついている場所があれば、日を替えて取り上げる。</li> </ul>

※ 食べ物を扱った札は、落花生、いわし、梨、飾りずし、びわ、さつまいもなどがある。

※ 遠足で行くところや幼児から自発的に挙げられた場所など、幼児の生活と結びついている場所を扱った札（房総のむら、御宿、九十九里、沖ノ島、鯛の浦、犬吠埼、清水公園、手賀沼、谷津干潟、メッセ、矢切の渡し、大多喜町の札など）を取り上げるようにするとよい。